

METAPLANET

2025年12月期 通期決算説明資料





将来の見通しに関する記述について(ディスクレーマー)

本プレゼンテーションには、将来の見通しに関する記述が含まれています。これには、予測値、目標、見通し、戦略計画、および株式会社メタプラネット(以下「当社」)の将来の業績に関する記述が含まれます。これらは、本資料発行時点での入手可能な情報、前提、および当社が合理的であると判断する期待に基づいています。将来の見通しに関する記述には、内在的なリスクや不確実性が伴い、実際の結果、業績、または成果が記載または示唆された内容と大きく異なる可能性があります。これらのリスクには、市況、為替レート、金利の変動、規制の変化、経済または政治情勢の変化、その他当社の管理が及ばない要因が含まれますが、これらに限定されません。当社は、本資料に含まれる情報の正確性、完全性、または継続的な有効性について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行わず、適用法令や規制で義務付けられる場合を除き、将来の見通しに関する記述を更新または修正する義務を負いません。

本プレゼンテーションは、いかなる法域においても、有価証券の売却の申し出や購入の勧誘を構成するものではありません。

ビットコイン価格は非常に変動が激しく予測困難です。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。当社のビットコイントレジャリー戦略は、大きな損失をもたらす可能性があります。パフォーマンス比較、ボラティリティ指標、ランキングデータは過去の情報に基づくものであり、将来の結果を示唆するものではありません。本プレゼンテーションには、「BTC イールド」「BTC NAV」「mNAV」など、一般に公正妥当と認められた会計原則(GAAP)に準拠しない非GAAP財務指標が含まれており、GAAP指標の代替として考慮すべきではありません。BTC イールドは、完全希薄化後発行済株式数に対するビットコイン保有比率の変化率を示すものであり、営業成績や流動性を示す指標ではありません。感応度分析やシナリオモデリングは、実現しない可能性がある前提に基づいており、あくまで参考目的のものです。

一部の情報は、信頼できると考えられる第三者情報源から取得していますが、その正確性や完全性について当社は一切保証しません。市場規模の推計、競争環境に関するデータ、業界統計は変更される可能性があります。投資家の皆様には、本資料に含まれる情報に基づいて投資判断を行う前に、慎重に検討し、自己責任でデューデリジェンスを行うことを強くお勧めします。



種類株式の性質及び発行に関する重要事項について

現時点で市場において取引可能な当社の証券は普通株式のみです。B種種類株式は第三者割当により発行済みですが、現時点では非上場であり、市場での取引は行われていません。

本資料における各種優先株式（A種種類株式、B種種類株式、ならびに将来的な構想としての永久優先株式等を含みますが、これらに限りません）に関する記述は、当社の資本政策上の現時点での検討事項を説明するものであり、その発行、上場、募集、または特定の権利内容等を確約する趣旨ではありません。

A種種類株式は発行登録を行っておりますが、現時点で未発行です。実際の発行には、株主総会での承認及び取締役会決議等の所定の法的手続きを要します。

当社は将来的なB種優先株式の上場（IPO）の可能性を検討しており、現在、東京証券取引所との事前相談を開始しています。上場を行う場合には、当該事前相談を経たうえで証券取引所による所定の上場審査を受ける必要があり、審査の結果等により上場が実現しない場合があります。今後、新たに開示すべき事実が生じた場合には、適時適切に公表いたします。

優先株式の配当率、議決権、転換価格、償還条項等の諸条件、およびこれらに基づく財務シミュレーションや「BTC イールド」（当社定義に基づく）への影響計算は、あくまで一定の前提に基づく試算です。実際の発行条件は、市場環境、規制当局との協議、社内決定等により変更され、または発行自体が中止となる場合があります。



メタプラネット:ハイライト

Q4 2024

Q4 2025

Bitcoin保有数量

1,762 BTC
(24年末)

35,102 BTC
(25年末)

資本調達額

100億円
(24年末累計)

5,172億円
(25年末累計)

株主数

47.2千人
(24年末)

216.5千人
(25年末)

BTCインカム事業

6.9億円
(24年末)

84.6億円
(25年末)



2025年度の「30,000 BTC」目標を上回る水準に到達

#1

日本最大のBTC保有企業⁽¹⁾

0.16%+

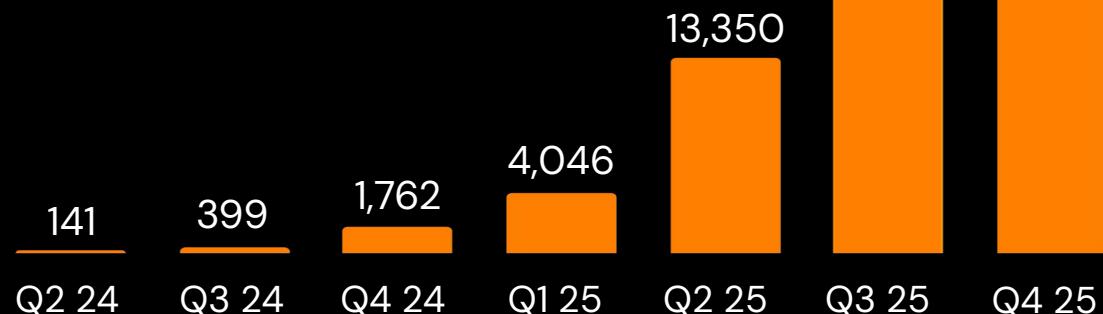
BTC全体に占める割合⁽²⁾

¥527B+

累計資金調達額⁽³⁾

35,102 BTC

現在のBTC保有量*



*2025年12月31日時点

(1) 出典:上場企業の公開資料および<https://bitcointreasuries.net/>

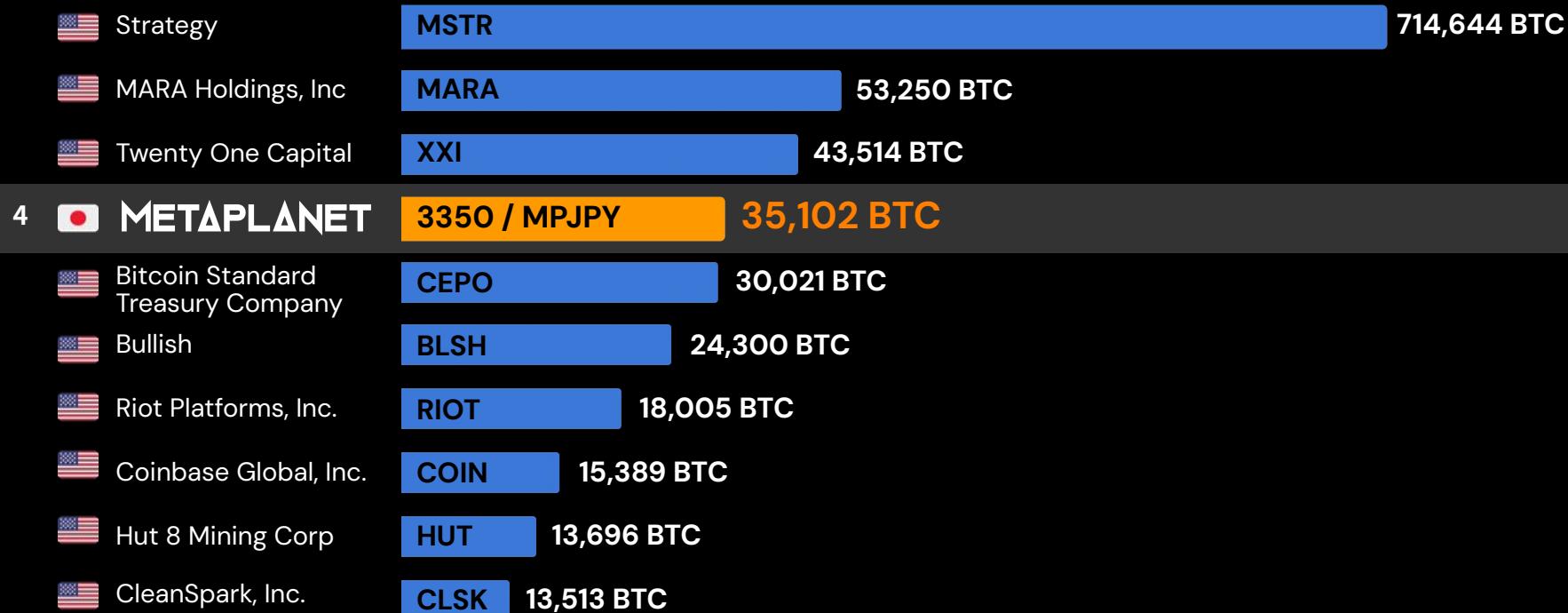
(2) 出典:Metaplanet 公開資料(保有BTC ÷ 発行上限:35,102 BTC ÷ 21,000,000 BTC)

(3) 注記:2024年4月(BTC戦略開始)から2025年12月末までの、株式および負債による資金調達額の合計から、債務償還額を差し引いたもの。



ビットコイン保有ランキング

当社は、ビットコイン保有量において、世界で4番目の上場企業に





1%クラブに向けたマイルストーン

目標： BTC供給量の1%

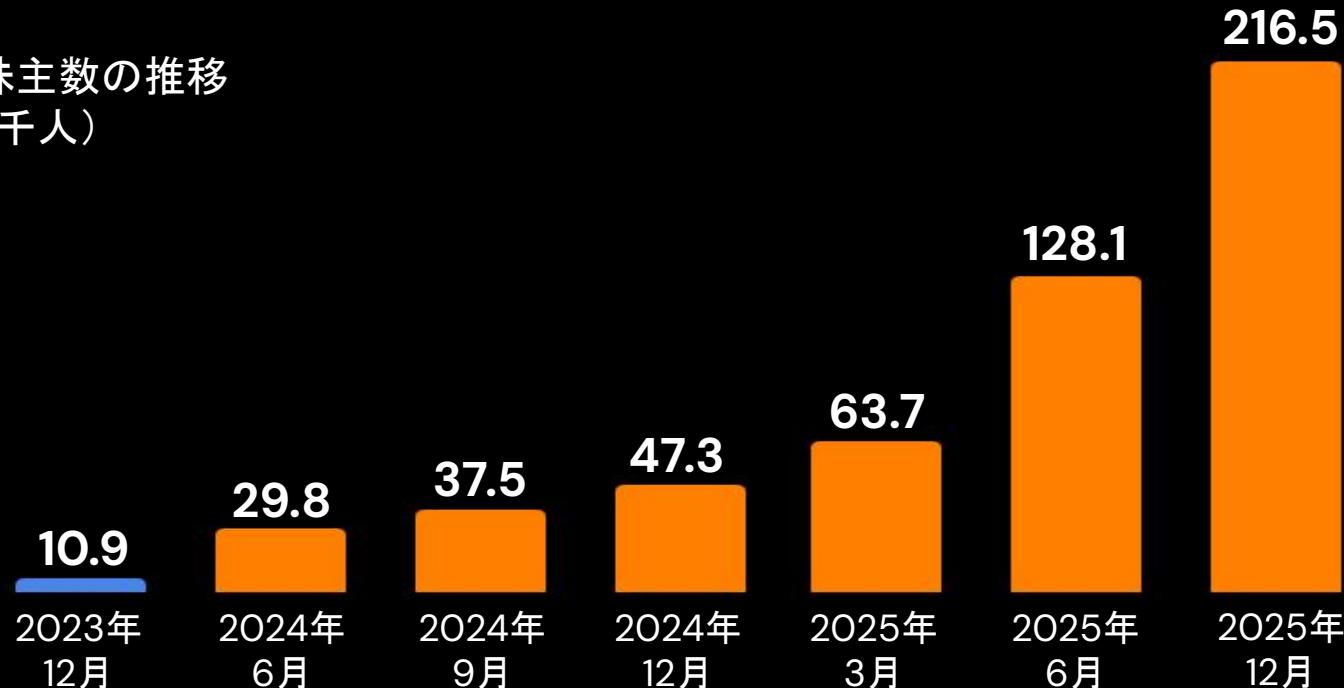


注記：2027年までに210,000 BTCという目標は、現在の計画、前提条件、市場環境に基づく将来予想であり、将来の業績を保証するものではありません。
市場の変動、規制の変更、事業運営上の要因など、さまざまにリスクや不確実性により、実際の結果は大きく異なる可能性があります。目標の達成が保証されるものではありません。



当社株主基盤の拡大

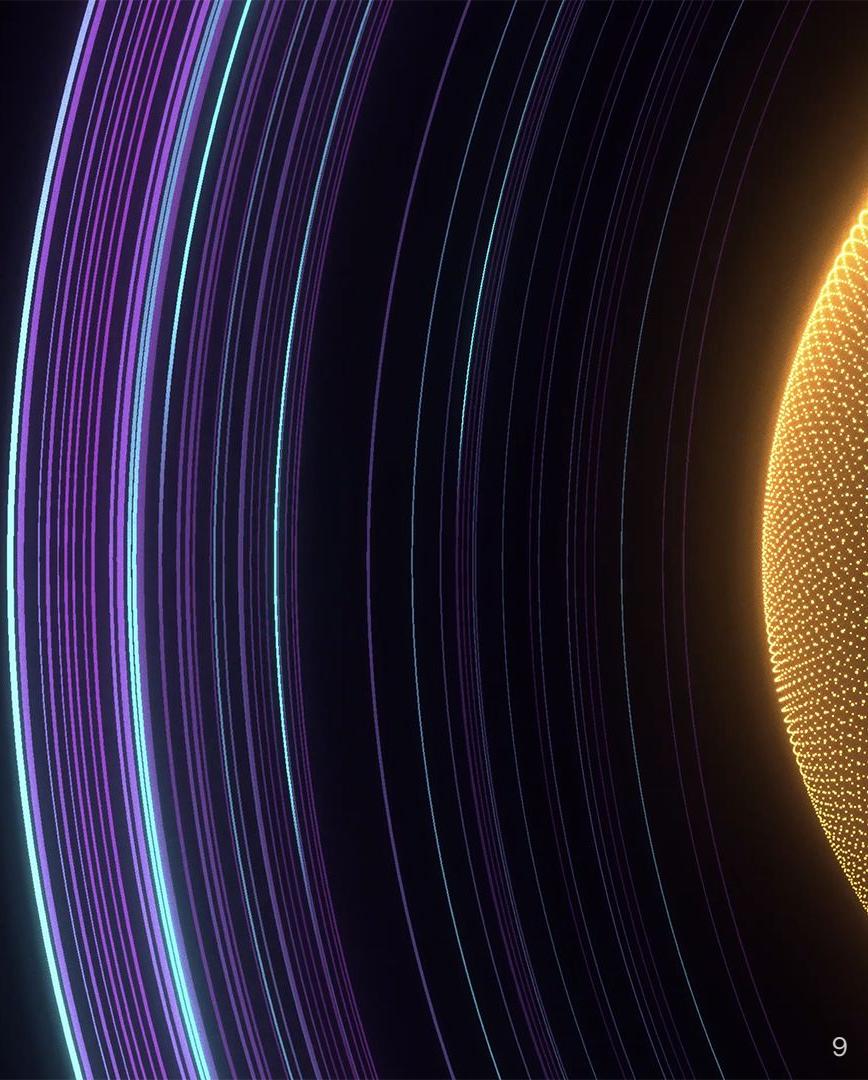
株主数の推移
(千人)



注記:当社の株主の中には、National Financial Services、Charles Schwab、Interactive Brokersなどの海外証券会社が含まれており、当社の株主名簿上では複数の株主が単一名称にまとめられています。そのため、これらの数値は過小に算出されています。

METAPLANET

通期決算概要





2025年12月期連結決算概要

(百万円)

	2024年度	2025年度	増減率
売上高	1,062	8,905	738.3%
営業利益	350	6,287	1,694.5%
経常利益	5,993	-96,141	-
当期純利益	4,439	-95,046	-
総資産	30,325	505,286	1,566.2%
純資産	16,925	458,592	2,609.6%



セグメント別収益概要

【セグメント名称の変更】

より実態に即した財務報告を行うため、当連結会計年度よりセグメント名称を変更しております（旧：「ビットコイントレジャリー事業」 → 新：「ビットコイン関連事業」）。

【業績ハイライト】

2025年度通期は売上高 89億500万円、営業利益 62億8,700万円を計上。当該セグメント売上は主に BTCオプション取引に係るプレミアム収入によるもので、第3四半期以降も成長が加速し、当初予想（売上高 68億円、営業利益 47億円）を大幅に上回って着地しました。

【コア損益の考え方と資金配分方針】

従来どおり、評価益（評価替えによる未実現のビットコイン評価益）はコア損益（営業利益）に含めず、実現キャッシュフローを重視しています。今後も事業拡大を進め、将来獲得するプレミアム収入を永久型優先株式の配当原資に充当するとともに、ビットコインの追加取得および戦略の成長加速に活用していく方針です。

FY2024

FY2025

（単位：百万円）

	ビットコイン トレジャリー事業	ホテル事業	全社及び その他	連結	ビットコイン 関連事業	ホテル事業	全社及び その他	連結
税引前当期純利益／(損失)								
売上高	689.9	372.4		1,062.3	8,468.3	436.9		8,905.2
売上原価	2.6	66.1		68.7	22.8	61.5		84.3
売上総利益	687.3	306.3		993.6	8,445.6	375.3		8,820.9
販管費	0.5	204.1	438.6	643.2	1,253.8	206.1	1,073.2	2,533.1
営業利益／(損失)	686.8	102.2	-438.6	350.4	7,191.8	169.3	-1,073.2	6,287.8

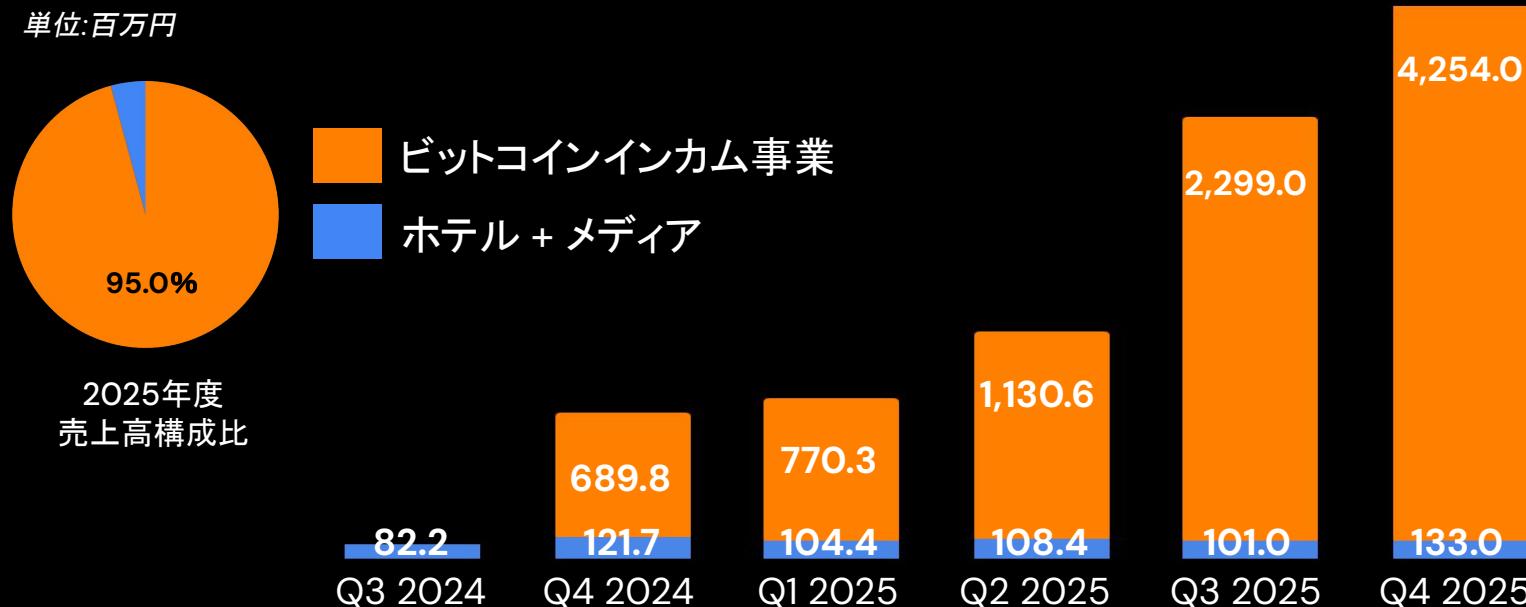
注記：本資料は管理会計に基づき作成されたものです。



2025年度の売上高

2024年第4四半期にビットコインカム事業を開始し、それ以降、同戦略は当社の主要な収益源となり、今後も利益成長の中核的な原動力であり続ける予定

単位:百万円





2025年度 当期純利益の内訳

百万円



営業利益/損失

BTC評価益/損

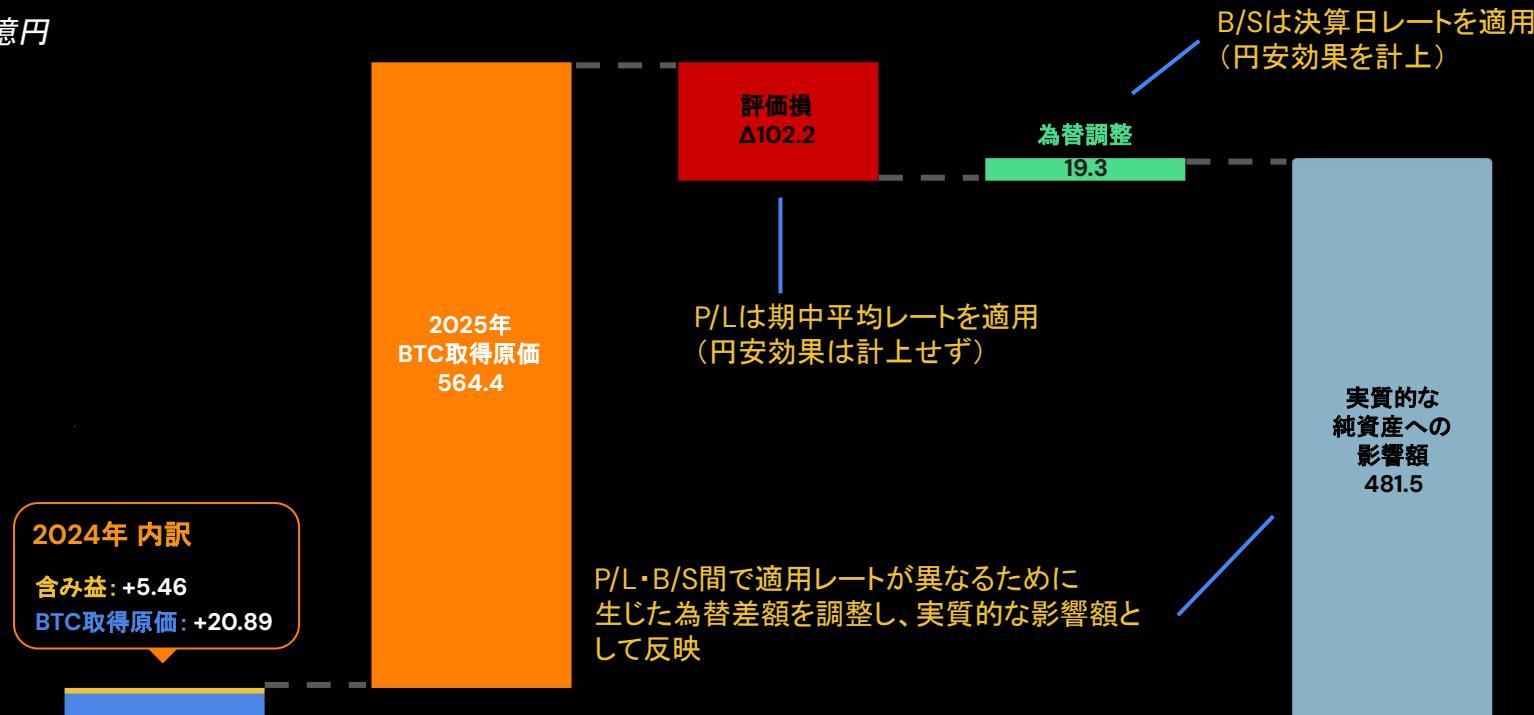
その他
営業外収益/損失

2025年度
税引前利益



会計上のビットコイン評価損益と 実質的な純資産への影響額について

十億円



12/31/2024

12/31/2025



当社の資本構造

財務健全性指標

自己資本比率 90.7%

純資産

BTC NAV

負債

その他⁽¹⁾

4,815億円

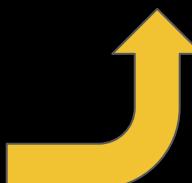
238億円

総資産
(2025/12/31時点)

4,585億円

467億円

負債・純資産
(2025/12/31時点)



(1) その他:連結総資産からBTC NAVを控除した額。



強固な財務基盤

BTC価格が86%下落しても、
負債と優先株式を完全にカバーする財務構造を維持

BTC価格 1,372万円

4,815億円



86%のBTC価格下落

BTC価格 193万円

679億円



BTC NAV
(2025/12/31時点)

負債+優先株式
(2025/12/31時点)

679億円

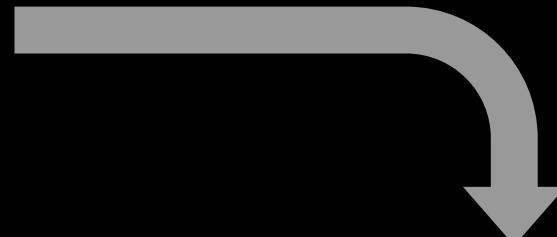


BTC NAV

679億円



負債+優先株式





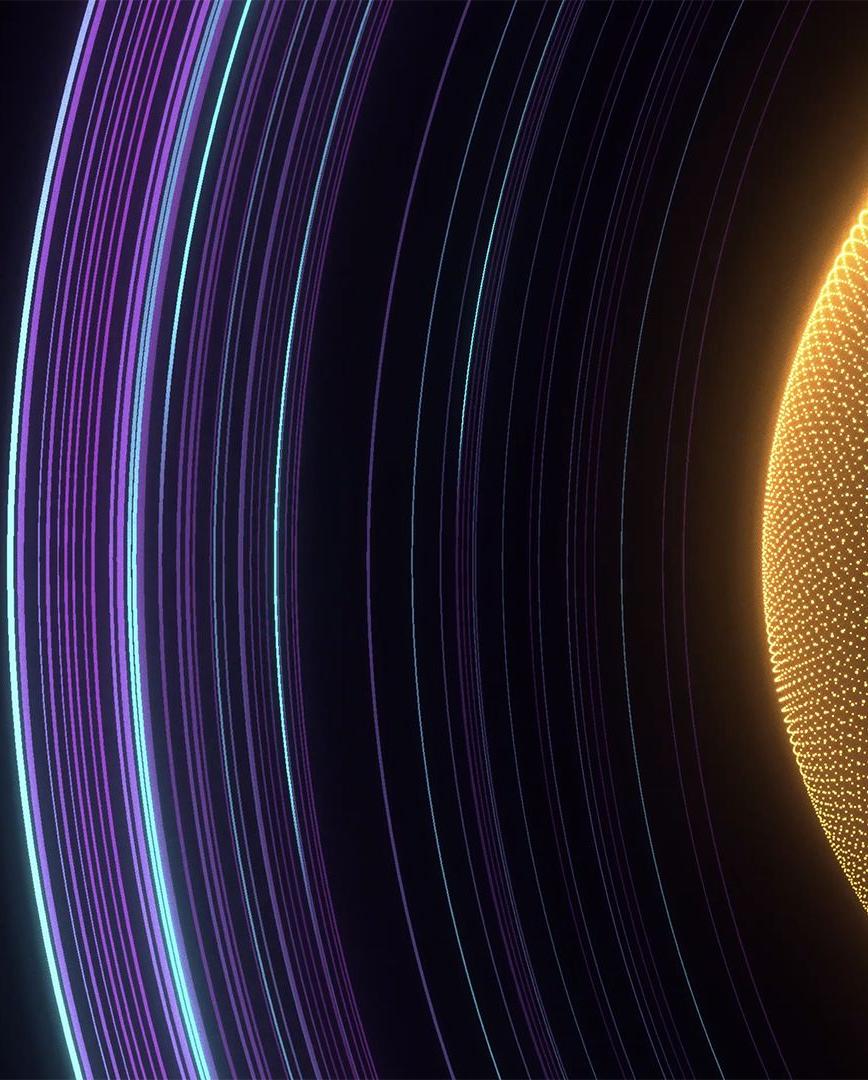
2026年度の見通し

(百万円)	売上高	営業利益
2025年度実績値	8,905	6,287
2026年度予想値	16,000	11,400
増減率	79.7%	81.3%

注記:ビットコイン価格の変動性により、2025年12月31日時点において将来価値の正確な予測は困難です。そのため、経常利益および当期純利益の予測は差し控えます。

METAPLANET

ビットコイン・トレジャリー事業





ビットコイン・トレジャリー事業について

デット・ファイナンス

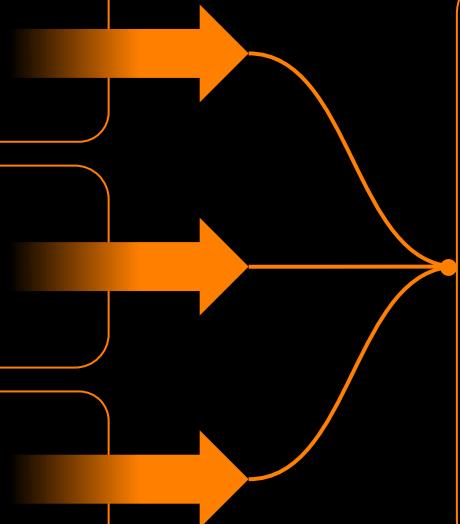
- ・社債発行
- ・ビットコイン担保付きクレジット・ファシリティ

エクイティ・ファイナンス

- ・第三者割当増資
- ・優先株式
- ・転換社債
- ・新株予約権

事業によるキャッシュ・フロー

- ・ビットコイン・インカム事業
- ・ビットコイン・ジャパン
- ・プロジェクトNOVA(構築中)



1株当たりビットコイン
保有量の最大化

✓ 中核資産として恒久的に保有

法定通貨価値の希薄化をヘッジし、ビットコインの長期的な価値上昇の恩恵を享受するため、恒久的に取得・保有

✓ 新たな収益機会を創出

単なる取得・保有に留まらず、リスクを勘案した上でビットコインを活用した収益機会の創出に取り組む

✓ 財務規律の徹底

資本政策・キャピタルアロケーションとの整合性を重視し、希薄化や財務健全性に配慮した規律ある運用を実施



KPI: BTCイールド

BTC イールド: ある期間における完全希薄化後発行済株式
数1株当たりビットコイン保有量の変化率

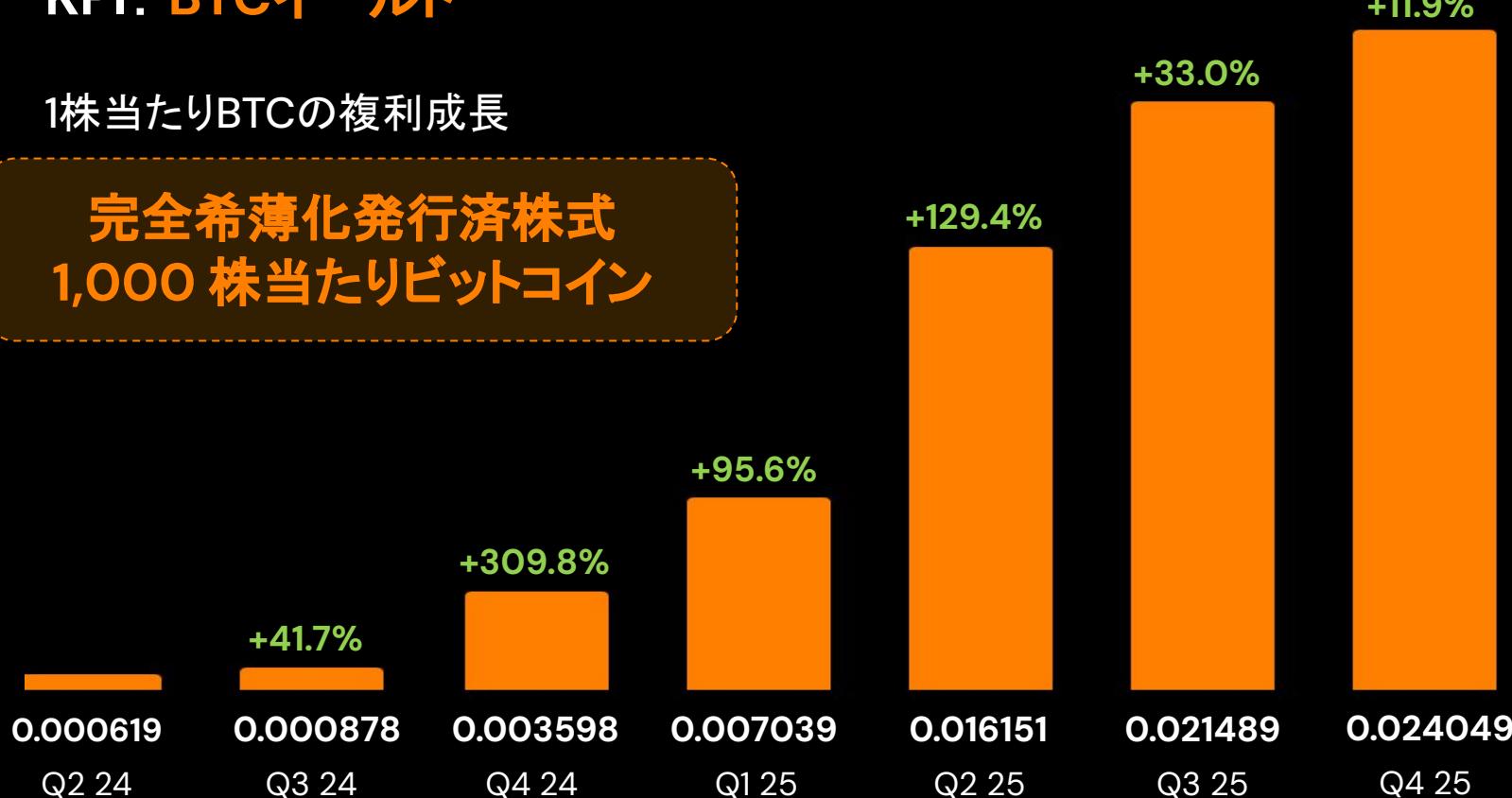
	2024/6/30 (基準)	2024/12/31	2025/12/31
ビットコイン保有量	141.07	1,761.98	35,102
発行済普通株式数	181,692,180	362,683,340	1,142,274,340
完全希薄化後発行済株式数	227,692,180	489,604,170	1,459,627,925
完全希薄化発行済株式,000株当たりBTC	0.0006196	0.0035988	0.0240486
BTCイールド(%、年初来)	0.00%	480.85%	568.26%
BTCゲイン(年初来)	-	1,436	10,013
BTC円ゲイン(百万円、年初来)	-	¥19,866	¥138,518
BTC/円参考価格	-	¥13,833,836	¥13,833,836



KPI: BTCイールド

1株当たりBTCの複利成長

完全希薄化発行済株式
1,000 株当たりビットコイン



「BTCイールド」とは、当社のビットコイン保有量と完全希薄化後発行済株式数との比率が、各期間でどれだけ変化したかを示す割合であり、重要業績指標の一つです。当社はこの指標を、ビットコイン取得戦略の実行状況を評価するために活用しておりますが、これは営業成績、財務状況、または資金繰りを直接示す指標ではありません。将来の見通しや目標は、あくまで参考情報として提示するものであり、市場環境、リスク、および不確実性の影響を受ける可能性があります。過去の実績は将来の成果を保証するものではありません。

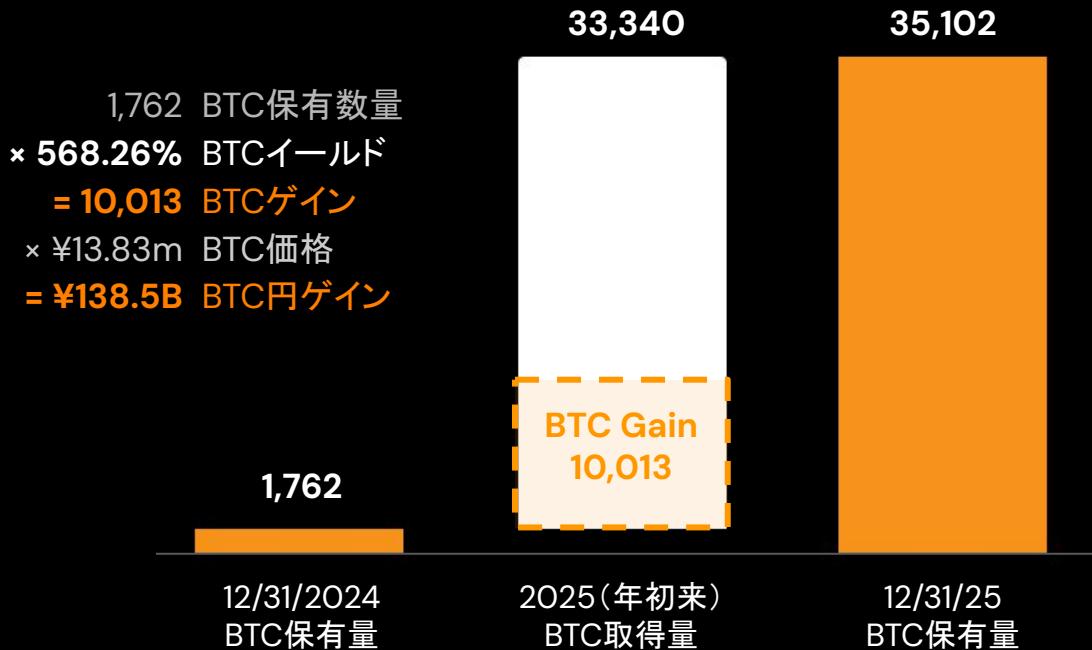


BTC主要KPIの算出方法

BTC イールド: ある期間における完全希薄化後発行済株式数1
株当たりビットコイン保有量の変化率

BTCゲイン: その期間の初めに当社が保有していたビットコインの数量に、当該期間のBTCイールドを乗じて算出されたBTCの増加分(希薄化を伴わずに増加したBTCの数量)

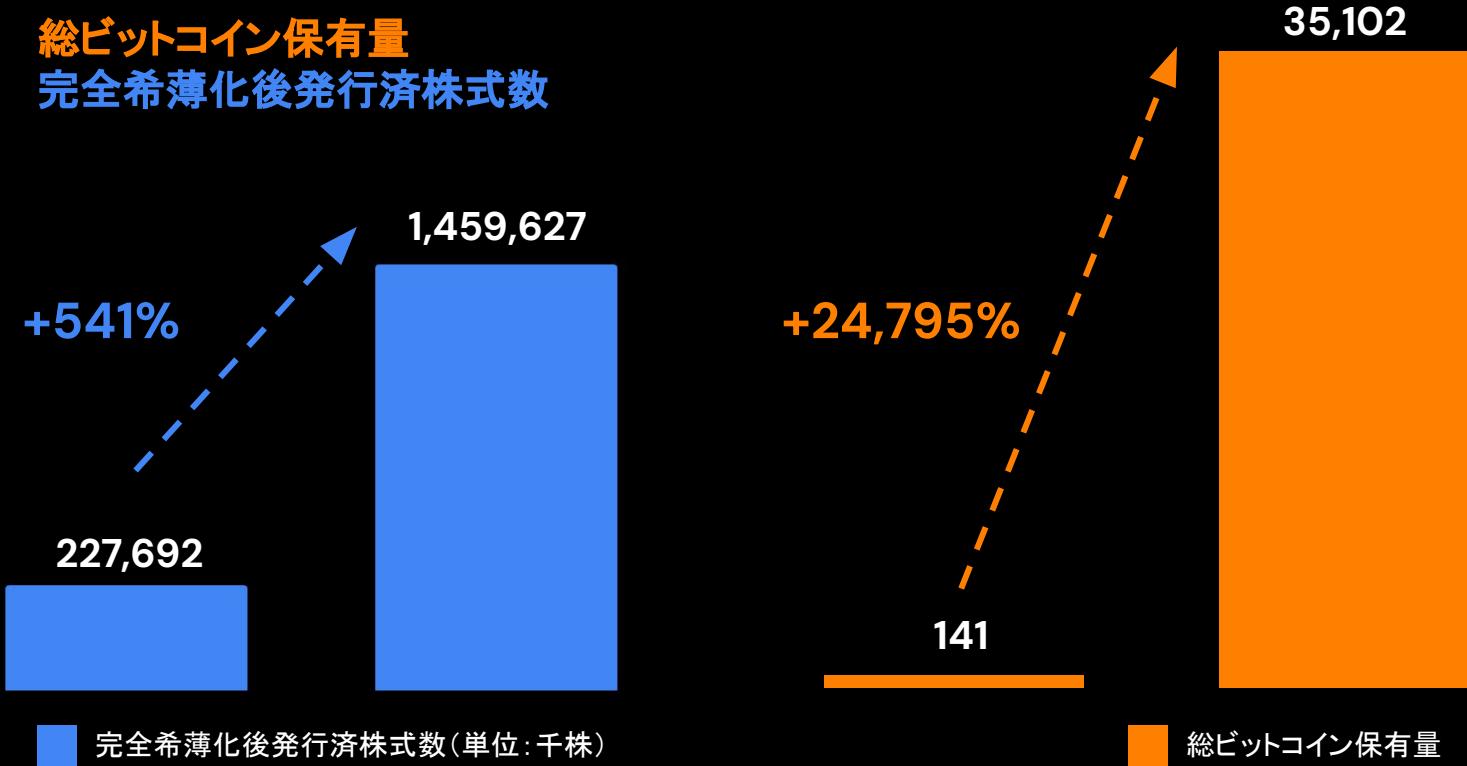
BTC円ゲイン: 上記のBTCゲインに対して、直近のBTC市場価格を用いて円換算した金額





当社はBTCトレジャリー戦略を開始して以降 希薄化を大幅に上回る BTC保有量の成長を実現

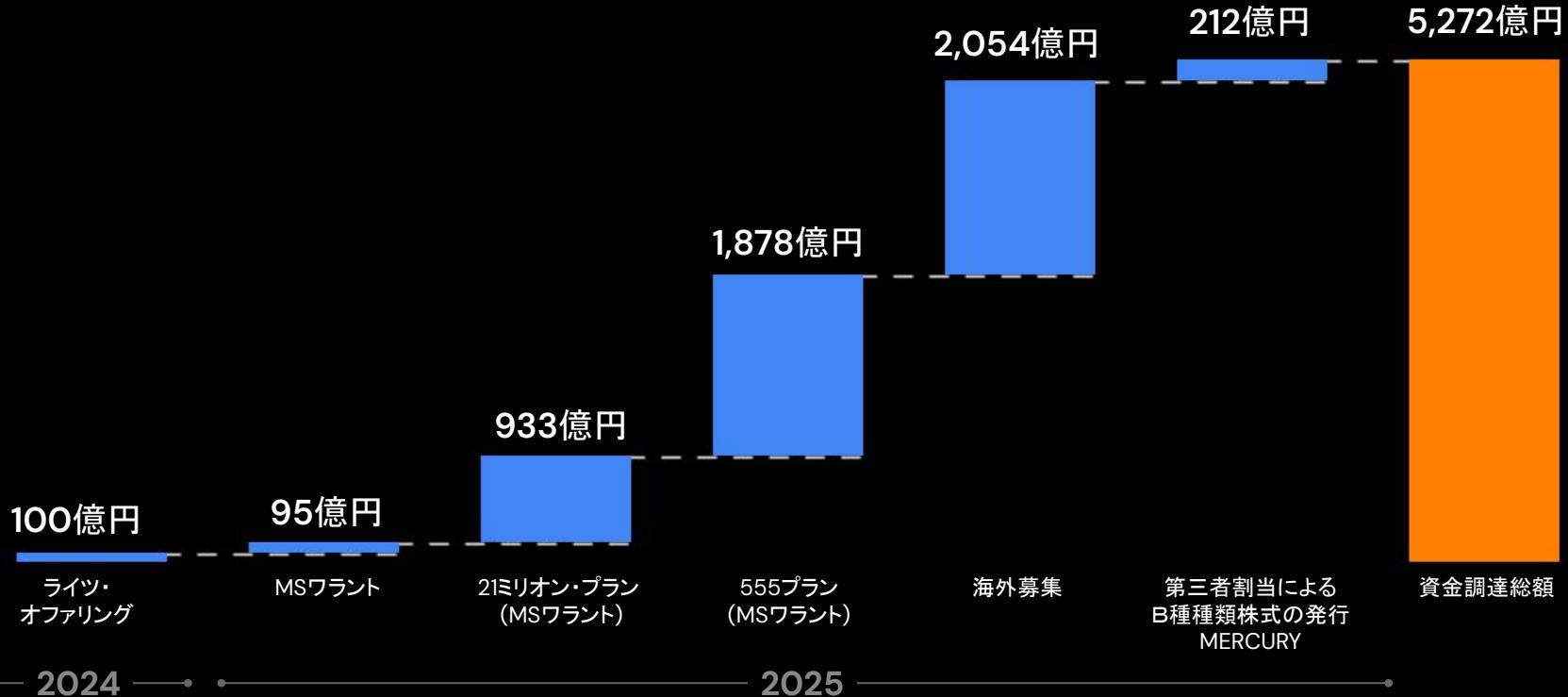
総ビットコイン保有量
完全希薄化後発行済株式数





株式資本市場における資金調達実績

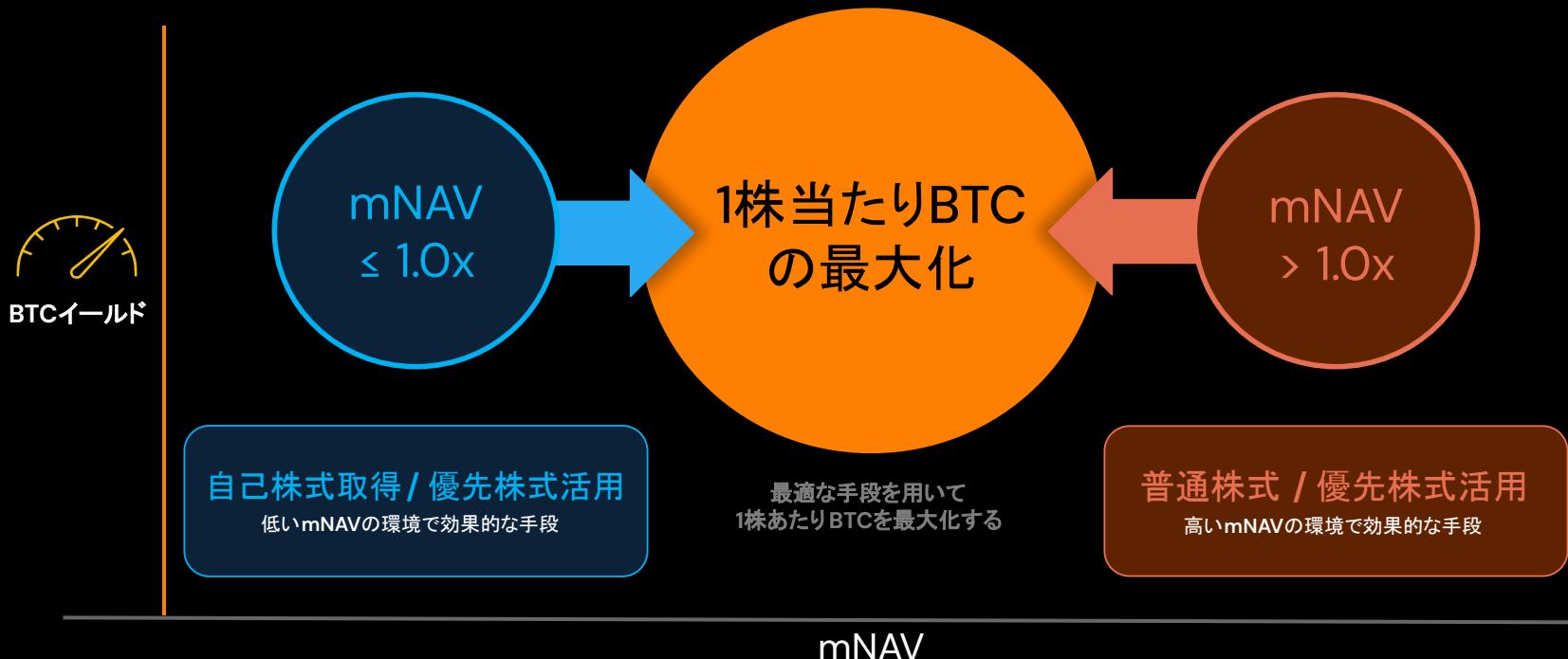
当社は、ビットコイントレジャリー戦略採用以降、5,000億円を超える
資金調達によりビットコインを取得





キャピタルアロケーション(資本配分)方針の策定

mNAVの水準に関わらず、1株当たりBTCの最大化を目指す





海外投資家へのアクセス拡大

スポンサー付きレベル ADR(米国預託証券)プログラムを設立

項目	内容
プログラムの種類	スポンサー付きレベル1 ADRプログラム
売買市場	米国店頭市場(OTC)
売買開始日	2025年12月19日(米国東部時間)
原株との交換比率	1 ADR=1株
米国証券コード(CUSIP)	59141L 109
ティッカーシンボル	MPJPY
預託銀行	Deutsche Bank Trust Company Americas
原株保管銀行	株式会社三菱UFJ銀行

METAPLANET P R E F S





MARSとは? A種株式の概要

- MARSは、Metaplanet Adjustable Rate Securities の略称で、円建ての永久型優先株式
- 毎月配当、上場後の流通株価に応じて配当額を毎月調整する仕組み(年率配当は1~8%のレンジで調整される)
- 転換権はなし(希薄化なしでBTCを蓄積可能)



MERCURYとは? B種株式の概要

- MERCURYは、Metaplanet Convertible for Return & Yield の略称で、円建ての永久型優先株式
- 年額49円(基準株価1,000円の場合:年率4.9%)の固定配当(四半期払い)に加え、株式価値の上昇に連動して転換可能な仕組みを備える



METAPLANET
PREFS

METAPLANET PREFS の利点

資金調達手段の強化・多様化

- 優先株式の発行によって調達した資金は、原則としてビットコインの取得に充当

A種株式は希薄化を伴わず、最大限のビットコイン蓄積を実現

- レバレッジを活用することで、A種株式はBTCイールドの最大化に寄与
- B種株式には転換権が含まれるが、普通株式と比べて希薄化を抑制でき、BTCイールドの最大化に貢献

償還期限がなく、リファイナンスリスクを最小化

- 長期かつ安定的な資本として機能しつつ、最大限のBTCイールドを獲得

配当負担は限定的

- BTCのNAV(純資産価値)の25%を上限とすることで、配当総額をコントロール
- 当社収益モデルおよび資金調達能力に鑑み、配当支払いによる影響は限定的と思料



METAPLANET
PREFS

第三者割当によるB種株式発行



B種株式の発行概要

発行株式数、議決権	23,610,000株、議決権：なし
発行価額	1株あたり900円
調達金額(総額)	21,249百万円
払込日	2025年12月29日
四半期配当	1株あたり12.25円(年額49円／年率4.9%) (未払い分は累積)
転換価額	1株あたり1,000円
清算優先額	1株あたり1,000円
優先順位	借入等の債務及びA種株式に劣後、普通株式に優先
償還期限(上場後)	なし(1年以内に上場できない場合、割当先は繰上償還請求が可能)
ソフトコール条項	10年目以降、株価が転換価額の30%で一定期間推移した場合は、繰上償還が可能 (転換を促進)
割当先	海外機関投資家6社



METAPLANET
PREFS

B種株式の投資ハイライト



日本の預金金利や10年国債利回りを上回る固定利回りを提供



預金金利



10年国債
(過去平均)



B種株式
(基準株価: 1,000円)

Yield

(出所)日銀、Bloombergのデータ(2025年2月15日時点)を基に当社作成。

(注記)本概念図は、国内の普通預金金利10年国債利回り、そしてB種株式向けに設計された固定利回りを直感的に比較するために作成したものです。本資料は特定の投資行動を推奨する意図や、投資助言を行うものではありません。MERCURYの配当率(4.9%)は1,000円を基準に算出しておりますが、実際の配当利回りは、年間配当額49円を取得価格で割った水準となります。



METAPLANET
P R E F S

B種株式の想定ボラティリティ(概念図)

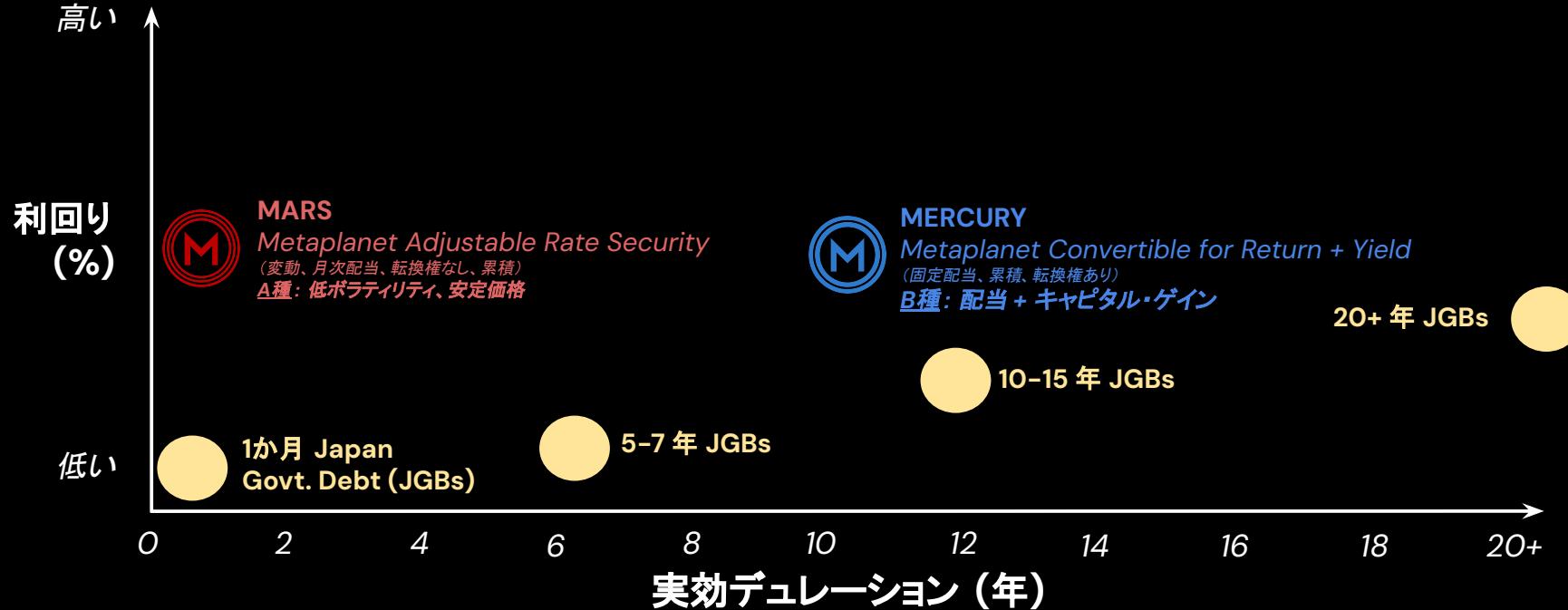


(注記)現在、市場で取引が可能な証券は普通株式のみです。B種株式は第三者割当により発行されましたか、現時点では非上場であり市場での取引は行われていません。A種株式は発行登録を行っていますが未発行であり、株主総会での承認を前提としています。その他、本資料に記載された将来の商品構想は概念上のものであり、いかなる登録・承認・募集・上場も行われておらず、将来的に実現しない可能性があります。利回りおよび実効デュレーションの位置付けは仮定に基づくものであり、拘束力はなく、当社内部の推定にすぎません。本資料は、投資助言を目的としたものではなく、また、特定の証券の売買を勧誘または推奨するものではありません。



METAPLANET
P R E F S

B種株式の配当利回り(概念図)



(注記)現在、市場で取引が可能な証券は普通株式のみです。B種株式は第三者割当により発行されました。現時点では非上場であり市場での取引は行われていません。A種株式は発行登録を行っていますが未発行であり、株主総会での承認を前提としています。その他、本資料に記載された将来の商品構想は概念上のものであり、いかなる登録・承認・募集・上場も行われておらず、将来的に実現しない可能性があります。利回りおよび実効デュレーションの位置付けは仮定に基づくものであり、拘束力はなく、当社内部の推定にすぎません。本資料は、投資助言を目的としたものではなく、また、特定の証券の売買を勧誘または推奨するものではありません。



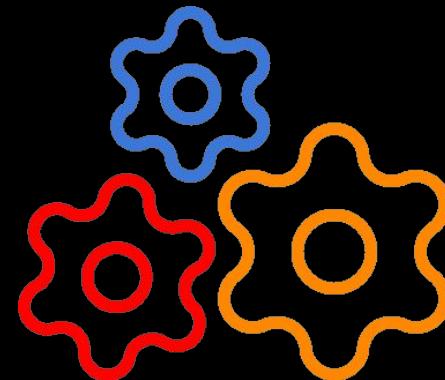
普通株式 × 優先株式

ハイブリッド・ファイナンスを実行

「希薄化のないA種」と「希薄化を抑制したB種」を
普通株式に組み合わせる

価値増幅構造の確立

3つの資本手段を原動力に、1株当たりBTC保有量の最
大化を実現





METAPLANET
PREFS

数値が証明する 普通株式×優先株式の優位性

参考例:

市場環境: mNAV1.25x

調達規模: BTC NAVを+40%の場合

普通株式のみ

普通株式(+32%)で全額調達



+6.1%
BTCイールド

普通株式 + A種株式

普通株式(+16%)+同額のA種株式発行



+20.7%
BTCイールド

普通株式 + B種株式

普通株式(+16%)+同額のB種株式発行



+15.4%
BTCイールド

注記:本数値は一定の前提に基づく試算(シミュレーション)です。将来の成果、株価、配当等を保証するものではありません。
本資料は資金調達手法の違いによる効果を比較するための概念図であり、投資勧誘や特定の有価証券の売買を推奨するものではありません。

METAPLANET

Secure The Future With Bitcoin



metaplanet.jp



@metaplanet_jp

